平成23年12月期　第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年7月29日

上 場 会 社 名　日本和装ホールディングス株式会社　　上場取引所　大
コ ー ド 番 号　2499　　ＵＲＬ　http://www.wasou.com/ir
代　　表　　者　(役職名)　代表取締役社長　　(氏名)　吉田重久
問合せ先責任者　(役職名)　取締役管理本部長　　(氏名)　菅野泰弘　　(TEL)03(3216)0070
四半期報告書提出予定日　平成23年8月9日　　配当支払開始予定日　平成23年9月16日
四半期決算補足説明資料作成の有無　　：有
四半期決算説明会開催の有無　　：有　(機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1．平成23年12月期第2四半期の連結業績(平成23年1月1日～平成23年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年12月期第2四半期	3,318	1.6	276	△28.2	263	△29.8	127	△53.2
22年12月期第2四半期	3,267	5.7	385	31.7	375	26.1	272	82.7

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年12月期第2四半期	1,415.34	1,415.04
22年12月期第2四半期	3,025.65	―

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年12月期第2四半期	5,468	3,047	55.6	33,791.97
22年12月期	4,966	3,004	60.5	33,377.41

(参考)自己資本　23年12月期第2四半期　3,041百万円　　22年12月期　3,004百万円

2．配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
22年12月期	―	500.00	―	1,000.00	1,500.00
23年12月期	―	500.00			
23年12月期(予想)			―	1,000.00	1,500.00

(注)当四半期における配当予想の修正無　　：　無

3．平成23年12月期の連結業績予想(平成23年1月1日～平成23年12月31日)

(%表示は、通期は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通　期	6,000	△4.9	500	△6.8	480	△7.1	250	△29.9	2,777.16

(注)当四半期における業績予想の修正有無　　：　無

４．その他　（詳細は、【添付資料】P.3「2.その他の情報」をご覧ください。）

（１）当四半期中における重要な子会社の異動　　：　無

新規　ー社　（社名）　ー　　、除外　ー社　（社名）　ー

（注）当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

（２）簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用　　：　無

（注）簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

（３）会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

①　会計基準等の改正に伴う変更　　：　有

②　①以外の変更　　：　無

（注）「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

（４）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数(自己株式を含む)	23年12月期2Q	90,020株	22年12月期	90,020株
②　期末自己株式数	23年12月期2Q	ー株	22年12月期	ー株
③　期中平均株式数(四半期累計)	23年12月期2Q	90,020株	22年12月期2Q	90,020株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しておりません。

※業績予測の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記に記載した予測数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確実な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により、上記数値と異なる場合があります。

○添付資料の目次

１．当四半期の連結業績等に関する定性的情報 …… 2
（１）連結経営成績に関する定性的情報 …… 2
（２）連結財政状態に関する定性的情報 …… 2
（３）連結業績予想に関する定性的情報 …… 2
２．その他の情報 …… 3
（１）重要な子会社の異動の概要 …… 3
（２）簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要 …… 3
（３）会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要 …… 3
３．四半期連結財務諸表 …… 4
（１）四半期連結貸借対照表 …… 4
（２）四半期連結損益計算書 …… 6
（第２四半期連結累計期間） …… 6
（第２四半期連結会計期間） …… 7
（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書 …… 8
（４）継続企業の前提に関する注記 …… 9
（５）セグメント情報 …… 9
（６）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 …… 9
４．補足情報 …… 10
季節的変動について…… 10

１．当四半期の連結業績等に関する定性的情報

（１）連結経営成績に関する定性的情報

当第２四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の影響や原子力発電所事故に伴う今後の電力供給不安及び供給面の制約から、経済活動が混乱し企業収益の低迷、設備投資の鈍化や個人消費の抑制傾向により国内景気の先行きは不透明感が高まる状況で推移しました。

当社グループが仲介を行う着物業界におきましても、消費の低迷は続いていると言われております。

このような環境のなか、当社グループにおきましては、1月に募集した「無料きもの着付教室」春期講座で13,000人を超える受講希望者の獲得に成功し、着付教室で同時開催される販売機会を主に4月から6月にかけて計画しておりました。しかし、3月に発生した東日本大震災により、東北地方の一部の会場（仙台、福島、郡山、茨城）で着付教室の開始時期の遅れや閉鎖が生じたことにより、着付教室で同時開催される販売機会が減少しました。

一方、既存顧客へ対しては、着る機会を兼ねた「きものスプリングコレクション」を、2月より全国7主要都市で開催する等、サービスと売上の拡充を目的としたイベントを順調に展開し、震災後においては、着付教室の閉鎖等にともなう販売機会減少への対応策として「きものチャリティーイベント」を急遽開催する等、既存顧客を対象としたイベントを積極的に行う施策に機動的に転換しました。

これらの結果、売上高は3,318百万円（前年同四半期比1.6%増）となりました。

利益面につきましては、「無料きもの着付教室」春期講座の受講者募集時期にあたり積極的な受講者募集活動を行ったことによる広告宣伝費や、オールインワン施設に係る地代家賃の増加、既存顧客を対象とした全国規模のイベントを展開したこと等による営業経費が増加し、営業利益は276百万円（前年同四半期比28.2%減）となりました。

営業外損益では、運転資金の借入金利息を13百万円計上したこと等により、経常利益は263百万円（前年同四半期比29.8%減）となりました。

特別損益では、資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額を特別損失に36百万円計上したことにより税金等調整前四半期純利益は226百万円（前年同四半期比40.7%減）となりました。

法人税等は、法人税、住民税及び事業税を計上するとともに、法人税等調整額を計上した結果、99百万円（前年同四半期比9.8%減）を計上いたしました。

これらの結果、四半期純利益は127百万円（前年同四半期比53.2%減）となりました。

なお、当社グループは、和服及び和装品の販売仲介を中心としたきもの関連事業の単一セグメントのため、セグメント情報に関連付けた記載を省略しております。

（２）連結財政状態に関する定性的情報

当第２四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末と比較して501百万円増加して5,468百万円となりました。

流動資産は、現金及び預金の減少227百万円、営業未収入金の減少42百万円及び流動資産その他が46百万円減少しましたが、割賦売掛金の増加760百万円、たな卸資産の増加17百万円、総額では456百万円増加し、4,344百万円となりました。

固定資産は、日本橋局や品川教室の改装工事により、有形固定資産が20百万円増加するなど、総額では45百万円増加し、1,123百万円となりました。

一方、流動負債につきましては、運転資金として短期借入金が351百万円増加したこと等に伴い、378百万円増加し、2,262百万円となりました。

固定負債は、会員向けのゲストハウスとして計画を進めております鎌倉プロジェクトへの設備投資にかかる資金調達等により長期借入金が80百万円増加したため、159百万円となりました。

純資産につきましては、当第２四半期連結累計期間に計上した四半期純利益127百万円及び配当金の支払90百万円により利益剰余金が37百万円増加いたしました。この結果、前連結会計期間末と比較して42百万円し増加し、3,047百万円となりました。なお、自己資本比率は前連結会計期間末と比較して4.9ポイント低下し55.6%となりました。

（３）連結業績予想に関する定性的情報

平成23年７月12日に公表いたしました連結業績予想から修正は行っておりません。

２．その他の情報

（１）重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

（２）簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

該当事項はありません。

（３）会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

１．資産除去債務に関する会計基準の適用

当第１四半期連結会計期間から、「資産除去債務に関する会計基準」（企業会計基準第18号　平成20年３月31日）及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第21号　平成20年３月31日）を適用しております。

これによる営業利益及び経常利益への影響額は軽微であります。また、税金等調整前四半期純利益は、36,657千円減少しております。

２．表示方法の変更

「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号　平成20年12月26日)に基づく「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則等の一部を改正する内閣府令」(平成21年3月24日　内閣府令第５号)の適用により、当第２四半期連結累計期間では、「少数株主損益調整前四半期純利益」の科目で表示しております。

３．四半期連結財務諸表

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	当第２四半期連結会計期間末 （平成23年６月30日）	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 （平成22年12月31日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,913,166	2,140,713
営業未収入金	462,609	504,809
割賦売掛金	1,468,295	707,349
営業貸付金	15,757	19,859
たな卸資産	130,832	113,811
その他	363,629	409,980
貸倒引当金	△9,771	△8,124
流動資産合計	4,344,520	3,888,398
固定資産		
有形固定資産	615,836	595,175
無形固定資産	21,816	20,298
投資その他の資産		
敷金及び保証金	443,799	443,925
その他	42,327	19,011
投資その他の資産合計	486,126	462,936
固定資産合計	1,123,779	1,078,409
資産合計	5,468,299	4,966,808
負債の部		
流動負債		
営業未払金	52,543	41,498
短期借入金	1,334,648	983,648
未払法人税等	118,620	88,848
前受金	431,051	393,568
営業預り金	31,608	29,378
その他	293,778	346,869
流動負債合計	2,262,250	1,883,811
固定負債		
長期借入金	145,788	65,112
その他	13,250	13,250
固定負債合計	159,038	78,362
負債合計	2,421,288	1,962,173

(単位：千円)

	当第２四半期連結会計期間末 (平成23年６月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	459,634	459,634
資本剰余金	336,409	336,409
利益剰余金	2,248,545	2,211,156
株主資本合計	3,044,589	3,007,200
評価・換算差額等		
為替換算調整勘定	△2,636	△2,566
評価・換算差額等合計	△2,636	△2,566
新株予約権	5,058	－
純資産合計	3,047,010	3,004,634
負債純資産合計	5,468,299	4,966,808

（２）四半期連結損益計算書
（第２四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成22年１月１日 至　平成22年６月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成23年１月１日 至　平成23年６月30日）
売上高	3,267,122	3,318,523
売上原価	502,069	551,824
売上総利益	2,765,053	2,766,699
販売費及び一般管理費	2,379,492	2,489,809
営業利益	385,560	276,890
営業外収益		
受取利息	641	575
協賛金収入	1,690	310
貯蔵品売却益	449	－
その他	773	525
営業外収益合計	3,554	1,410
営業外費用		
支払利息	9,225	13,418
催事関連費	4,119	436
その他	351	990
営業外費用合計	13,696	14,845
経常利益	375,418	263,455
特別利益		
新株予約権戻入益	4,279	－
貸倒引当金戻入額	3,000	－
特別利益合計	7,279	－
特別損失		
固定資産除却損	83	－
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	－	36,657
特別損失合計	83	36,657
税金等調整前四半期純利益	382,614	226,798
法人税、住民税及び事業税	108,505	113,631
法人税等調整額	1,739	△14,241
法人税等合計	110,245	99,389
少数株主損益調整前四半期純利益	－	127,409
四半期純利益	272,369	127,409

(第２四半期連結会計期間)

(単位：千円)

	前第２四半期連結会計期間 (自　平成22年４月１日 至　平成22年６月30日)	当第２四半期連結会計期間 (自　平成23年４月１日 至　平成23年６月30日)
売上高	1,940,458	1,956,225
売上原価	213,047	245,858
売上総利益	1,727,410	1,710,367
販売費及び一般管理費	1,080,419	1,011,238
営業利益	646,991	699,129
営業外収益		
受取利息	36	133
協賛金収入	1,515	20
催事関連収入	195	－
その他	425	87
営業外収益合計	2,172	241
営業外費用		
支払利息	4,764	6,516
催事関連費	－	436
その他	350	318
営業外費用合計	5,114	7,271
経常利益	644,049	692,099
特別利益		
貸倒引当金戻入額	3,000	－
特別利益合計	3,000	－
税金等調整前四半期純利益	647,049	692,099
法人税、住民税及び事業税	106,634	111,201
法人税等調整額	107,934	171,196
法人税等合計	214,568	282,397
少数株主損益調整前四半期純利益	－	409,702
四半期純利益	432,480	409,702

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第２四半期連結累計期間 (自　平成22年１月１日 至　平成22年６月30日)	当第２四半期連結累計期間 (自　平成23年１月１日 至　平成23年６月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	382,614	226,798
減価償却費	34,499	40,758
固定資産除却損	83	－
新株予約権戻入益	△4,279	－
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	－	36,657
貸倒引当金の増減額（△は減少）	26,790	1,646
受取利息	△641	△575
支払利息	9,225	13,418
営業未収入金の増減額（△は増加）	△47,155	42,199
割賦売掛金の増減額（△は増加）	△380,044	△760,946
営業貸付金の増減額（△は増加）	3,029	4,102
たな卸資産の増減額（△は増加）	△14,825	△17,021
営業未払金の増減額（△は減少）	△35,892	11,045
未払金の増減額（△は減少）	26,165	△60,872
前受金の増減額（△は減少）	138,925	37,482
営業預り金の増減額（△は減少）	59,341	2,230
その他	△8,996	62,905
小計	188,838	△360,170
利息の受取額	641	575
利息の支払額	△10,236	△19,455
法人税等の支払額	△71,663	△82,212
営業活動によるキャッシュ・フロー	107,580	△461,262
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の増減額（△は増加）	△11	△200,003
有形固定資産の取得による支出	△61,634	△61,419
投資有価証券の取得による支出	－	△10,000
敷金保証金の増加額	△31,331	△49,058
敷金保証金の減少額	25,063	12,527
その他	△5,395	80
投資活動によるキャッシュ・フロー	△73,309	△307,873
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	337,000	325,000
長期借入れによる収入	－	130,000
長期借入金の返済による支出	△23,496	△23,324
配当金の支払額	△90,516	△90,020
財務活動によるキャッシュ・フロー	222,987	341,656
現金及び現金同等物に係る換算差額	△485	△70
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	256,773	△427,550
現金及び現金同等物の期首残高	2,112,701	2,012,425
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,369,474	1,584,875

（４）継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

（５）セグメント情報

〔事業の種類別セグメント情報〕

前第２四半期連結累計期間（自　平成22年１月１日　至　平成22年６月30日）及び前第２四半期連結会計期間（自　平成22年４月１日　至　平成22年６月30日）

全セグメントの売上高の合計及び営業損益の合計額に占めるきもの関連事業の割合が、いずれも90％を超えているため、事業の種類別セグメント情報の記載を省略しております。

〔所在地別セグメント情報〕

前第２四半期連結累計期間（自　平成22年１月１日　至　平成22年６月30日）及び前第２四半期連結会計期間（自　平成22年４月１日　至　平成22年６月30日）

全セグメントの売上高の合計に占める日本の割合が、90％を超えているため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

〔海外売上〕

前第２四半期連結累計期間（自　平成22年１月１日　至　平成22年６月30日）及び前第２四半期連結会計期間（自　平成22年４月１日　至　平成22年６月30日）

海外売上高は、連結売上高の10％未満であるため、海外売上高の記載を省略しております。

〔セグメント情報〕

当社グループは、和服及び和装品の販売仲介を中心としたきもの関連事業の単一セグメントであるため記載を省略しております。

（追加情報）

第１四半期連結会計期間から「セグメント情報等の開示に関する会計基準」（企業会計基準第17条　平成21年３月27日）及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第20号　平成20年３月21日）を適用しております。

（６）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

４．補足情報

季節的変動について

当社グループのきもの関連事業では、「無料きもの着付教室」（毎週１回、全15回のカリキュラムにて実施。）において、各契約企業が教室の受講者に販売する機会を提供し、仲介手数料等を受領しております。「無料きもの着付教室」は、主として春期講座（２月から順次開講）と秋期講座（９月から順次開講）から構成されており、それぞれ開講から各四半期末までの経過期間（販売機会の提供期間）に相違があります。

また、「無料きもの着付教室」の受講者の募集は教室開講前に実施するため、受講者募集経費の計上が収益の計上に先行します。

このため、売上高及び受講者募集経費が各四半期に均等に計上されず、偏重する時期が異なるため、各四半期の営業利益の間に相違があり、各四半期の業績に季節的変動があります。

参考情報（平成22年12月期連結会計年度における四半期情報）

平成23年３月25日提出の第25期有価証券報告書第一部企業情報　第５経理の状況　１．連結財務諸表等　(2)その他に記載した平成22年12月期連結会計年度における四半期情報は以下のとおりであります。

	第１四半期 自平成22年１月１日 至平成22年３月31日	第２四半期 自平成22年４月１日 至平成22年６月30日	第３四半期 自平成22年７月１日 至平成22年９月30日	第４四半期 自平成22年10月１日 至平成22年12月31日
売上高（千円）	1,326,664	1,940,458	1,412,172	1,631,258
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失（△）（千円）	△264,434	647,049	△214,584	355,299
四半期純利益又は四半期純損失（△）（千円）	△160,111	432,480	△128,017	212,111
１株当たり四半期純利益金額又は１株当たり四半期純損失金額（△）（円）	△1,778.62	4,804.28	△1,422.10	2,356.27